

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

## 2. 分野等別状況 (1) 国際戦略総合特区(1/7)

	評価区分(※)	評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗に関する評価	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	総合評価	
アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区 (愛知県等)	正	4.6	4.8  進捗度 ・我が国の航空宇宙産業の国際市場シェア 138%  ・中部地域における航空宇宙関連輸出額 224%  ・愛知・岐阜・三重・長野・静岡地域における航空宇宙関連の工場等の増設件数 175% 等	4.2  規制の特例等 ・工場等増設促進事業 等  財政支援等 ・人材育成・確保推進事業  ・設備等投資促進税制 36件 等  地域独自の取組 ・21世紀高度先端産業立地補助金 等	4.7	<p>・平成26年度までの目標値を上回る進捗を上げており、確実な事業の進展がうかがえる。</p> <p>・特区制度の効果の現出が広範囲にわたり、特区の拡大にもその良好な状態が表れている。</p> <p>・財政、税制、金融支援の活用に改善の余地があるものの、地域独自の取組で規制改革を行っていることは評価できる。</p> <p>・ただし、評価指標(1)及び(3)の代替指標は必ずしも適切とはいえず、航空宇宙産業の進展を客観的に計ることができる指標の検討も期待される。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。